

第 392 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会, (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会

分析法の性能は、前処理法や測定条件の最適化に大きく依存します。迅速かつ簡便な分析法の導入は、効率的な分析業務において不可欠です。昨今の DX (デジタルトランスフォーメーション) の波に乗り、分析法開発、分析実務の両方において、AI 技術を活用した自動化が進展しています。この例会では、食品分析を中心に、最適化と効率化を実現するための具体的な事例を紹介し、最先端の技術を駆使した分析法の開発から、AI による革新的な自動化アプローチ、分析法開発の戦略まで、実務に直結する実践的な事例についてご講演いただきます。

期日 2024 年 2 月 27 日 (火) 13.00~16.55

会場 (株)島津製作所殿町事業所/Shimadzu Tokyo Innovation Plaza [神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-40, 交通: ①京急大師線「小島新田」駅より徒歩 12 分。②京浜急行電鉄・東京モノレール「天空橋」駅よりバス/タクシー 10 分, バス: 大 109 大師橋駅前行「殿町三丁目」下車。③JR「川崎」駅よりタクシー約 20 分。

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tonomachi.html>

講演主題 食品分析法の最適化と効率化

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13.00~13.10)

((一財)日本食品検査) 橋田 規
(LC 分析士二段, LC/MS 分析士四段)

1. ミネラルウォーター類分析への LC/MS の適用
(13.10~13.40)

(東ソー(株) 伊藤誠治

(LC 分析士五段, LC/MS 分析士二段)

2. 食品分析における 2DLC 分析の事例紹介 (13.40~14.10)
(サーモフィッシュサイエンティフィック(株))

米本龍太 (LC 分析士初段)

3. 食品サンプル分析のための前処理法最適化
(14.10~14.40)

(日本ウォーターズ(株) 島崎裕紀

(LC 分析士三段, LC/MS 分析士二段)

4. LC-MS を用いた食品中残留農薬分析の効率化と食品添加物分析の紹介 (14.40~15.10)

(アジレント・テクノロジー(株))

滝埜昌彦 (LC/MS 分析士二段)

休憩 (15.10~15.25)

5. AI アルゴリズムによるグラジエント条件の自動最適化—お茶中機能性成分一斉分析メソッド開発への応用
(15.25~15.55)

(株)島津製作所) 野村文子 (LC 分析士二段)

6. 食品分析法の開発: 戦略的アプローチと実務への応用
(15.55~16.25)

((一財)日本食品検査) 橋田 規

(LC 分析士二段, LC/MS 分析士四段)

7. 総括「食品分析法の最適化と効率化」(16.25~16.55)

(東京理科大学) 中村 洋

(LC マイスター, LC/MS マイスター)

情報交換会 (17.00~19.00) 申込者のみ

参加費 ① LC 研究懇談会・個人会員, 学生: 1,000 円, ② LC 研究懇談会・団体会員: 2,000 円, ③ 後援学会・個人会員: 3,000 円, ④ 後援学会・団体会員: 4,000 円, ⑤ その他: 5,000 円。参加申込締切後の受付はできませんので、ご了承ください。

ください。

情報交換会 終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します (会費 5,000 円)。参加申込締切後のご参加はできませんので、ご了承ください。

申込締切日 2 月 20 日 (火) (入金締切時刻: 15 時まで)

申込方法

- 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先 (電話番号)、LC 研究懇談会・個人会員、協賛学会・個人会員、その他の別及び情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
- お申込みが完了した場合には、登録されたアドレスに「第 391 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付 (自動返信)」のメールが届きます。メールが届かない場合は、世話人までお問い合わせください。
- 申込み受付のメールを受領後、必ず期限内に研究懇談会参加費、情報交換会費の納入を行ってください。期限内に納入が確認できない場合、お申込みを無効とし参加 URL を発行しませんので、十分ご注意ください。当日払いは受け付けません。なお、一旦納入された参加費は、返金いたしません。
- 参加費の納入が確認できた方には、2024 年 2 月 21 日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。なお、請求書の発行はいたしておりません。

液体クロマトグラフィー研究懇談会 (例会) 参加費送金時のご注意

例会参加費、情報交換会費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- 複数参加者の参加費の同時振込
(→例会ごとに振り込んでください)
- 複数参加者の参加費の同時振込
(→参加者ごとに振り込んでください)
- 年会費や他の費用との合算振込
(→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/HAD5gXCBhLMxbv778>

(学生申込者は、所属欄に大学名、学部、学年を記載)

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 1754341, 口座名義: シヤ) ニホンブンセキカガクカイ [公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合せ先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 ((一財)日本食品検査 橋田 規
[E-mail: t_kitta@jfic.or.jp])

2024 年度第 1 回近畿支部講演会

主催 (公社)日本分析化学会近畿支部, 近畿分析技術研究懇談会

期日 2024 年 4 月 5 日 (金) 15.00~17.00

会場 大阪科学技術センター 7 階 700 号室 [大阪市西区鞆本町 1-8-4, 電話: 06-6443-5324, 交通: 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車, 北へ徒歩約 7 分。うつぼ公園北詰]

講演

- 回顧: 分離分析 40 年 (15.00~16.00)
(京都大学) 大塚浩二
- 化学分析のための X 線分光に関するアイデア
(16.00~17.00)
(京都大学) 河合 潤

参加費 無料

参加申込 標記行事名を題記し、(1) 氏名、(2) 勤務先 (所

属), (3) 連絡先を記入のうえ, 下記申込先へ FAX または E-mail にてお申し込みください。なお, 参加証は発行いたしませんので, 当日は直接会場にお越しください。

申込先 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 (公社)日本分析化学会近畿支部〔電話: 06-6441-5531, FAX: 06-6443-6685, E-mail: mail@bunkin.org〕

※新型コロナウイルスの影響により, 延期やオンライン開催等に変更する可能性があります。変更などの詳細は, 近畿支部ホームページ (<http://www.bunkin.org/>) にてご確認ください。

2024 年度液体クロマトグラフィー (LC) 分析士初段 認証試験実施のお知らせ

標記につき, 下記要領で実施する予定ですのでお知らせいたします。各会場へのお問い合わせは, ご注意ください。

期日 2024 年 6 月 18 日 (火) 14 時~16 時

会場

①東京会場: (株)島津製作所東京支社〔東京都千代田区神田錦町 1-3, 交通: 都営新宿線「小川町」駅, 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅, 東京メトロ丸の内線「淡路町」駅の B7 出口より徒歩 6 分, 東京メトロ銀座線「神田」駅より徒歩 10 分, JR「神田」駅西口より徒歩 10 分。〕

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>

②京都会場: (株)島津製作所本社研修センター〔京都府京都市中京区西ノ京桑原町 1, 交通: (地下鉄) 京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅より国際会館方面に乘車, 「烏丸御池」駅にて下車し, 京都市営地下鉄東西線「太秦天神川」方面に乗り換え, 「西大路御池」駅下車, 4 番出口より南へ徒歩 3 分。(市バス) 京都駅烏丸中央口北側のバス乗り場より「205 系統: 西ノ京円町・金閣寺道ゆき」または「26 系統: 宇多野・山越ゆき」に乘車, 「西大路三条」で下車後, 三条通りを西へ徒歩 3 分 (北側) 京都駅からの所要時間約 35 分。

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html>

初段資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして, 「指示をすれば一人で分析できるレベル。当該分析・測定技術に関する基礎的知識および関連する法令に関する知識を有する。」と規定されます。液体クロマトグラフィー分析士においては「クロマトグラフィーや HPLC に関する基礎的知識と原理に対する理解が十分ある」ことが求められます。なお, 試験問題としては科学の各分野並びに化学・分析化学一般に関する知識を問う内容が約 50% 含まれます。

受験料 5,500 円 (合格者は登録料 2,200 円を別途申し受けます)。請求書の発行はいたしません。入金確認後, 受験番号をお知らせします。

申込方法 受験料の銀行振込後, 専用ホームページ (<https://forms.gle/bt5dH7qWcmGw9BrH7>) にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 6 月 8 日 (月) 15 時。会場に定員制限がありますので, 入金順に受験番号を発行します。

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金 0802349, 口座名義: 公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 (シヤ) ニホンブンセキカガクカイエキタイクロマトグラフィー。一度お振り込みいただいた受験料は返却しません。万一, 当方の判断で試験が中止された場合には, 次回の受験料を免除します。

問合せ先 (公社)日本分析化学会・LC 研究懇談会・分析士認証専門部会〔E-mail: nakamura@jsac.or.jp〕

—以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です—

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

KISTEC 教育講座

「高分子材料を進化させる表面・界面制御の基礎」

主催 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所

期日 2024 年 2 月 15 日 (木)

会場 オンライン開催

ホームページ

<https://www.kistec.jp/learn/koubunshi/>

連絡先 213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 東棟 1F (地独)神奈川県立産業技術総合研究所 人材育成部教育研修グループ

〔電話: 044-819-2033, E-mail: manabi@kistec.jp〕

第 73 回プラスチックフィルム研究会講座

主題=脱炭素社会・循環型経済実現に
貢献するプラスチックフィルム材料

主催 (公社)高分子学会プラスチックフィルム研究会

期日 2024 年 3 月 18 日 (月)

会場 東京工業大学大岡山キャンパス西 9 号館コラボレーションルームおよびオンライン

ホームページ

<https://member.spsj.or.jp/event/>

連絡先 104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル 6F (公社)高分子学会 第 73 回プラスチックフィルム研究会講座係〔電話: 03-5540-3771〕

第 84 回分析化学討論会 —参加登録方法—

本討論会に参加される方（講演発表される個人会員の登壇者を含みます）は、全員参加登録をお願いします。当日は専用受付を設けますので、そちらで参加登録ください。なお、市民公開講演会については一般公開となります。

討論会当日、参加証を提示されない方の入場はご遠慮いただきます。参加登録については、郵送、FAX および電子メールでの受付は一切行いませんので、必ずアトラス社 Confit による参加登録システムをご利用ください。最新の情報や参加登録等の詳細については第 84 回分析化学討論会ホームページ（以下、討論会 HP と略）を必ずご確認ください。また、講演要旨集は討論会 HP 上で電子配布いたします。

【第 84 回分析化学討論会公式 Web サイト URL（講演申込）】

討論会 HP : <https://confit.atlas.jp/jsac84touron>

【第 84 回分析化学討論会 参加登録スケジュール】

事前参加登録期間：2023 年 12 月 13 日（水）～2024 年 4 月 17 日（水）

主催 （公社）日本分析化学会
協賛 国立大学法人京都工芸繊維大学
会期 2024 年 5 月 18 日（土）・19 日（日）
日程 5 月 18 日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、若手講演（ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、産業界 R&D 紹介講演（ポスター）、市民公開講演会、ランチョンセミナー、機器展示会
5 月 19 日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、市民公開講演会、ランチョンセミナー、機器展示会
※日程は変更する場合があります。
会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス〔京都市左京区松ヶ崎橋上町 1〕
懇親会 5 月 18 日（土）18 時～20 時（予定）ホテルオークラ 京都

【参加登録方法】

参加登録は、すべて討論会 web サイトに入って、Confit による参加登録システムにて受け付けます。

1. 参加登録料などの諸費用は、一切返金できません。
2. 見積書、納品書、請求書は原則として発行いたしません。必要な方は、申込者において書類作成のうえ、返信用封筒（切手貼付）を同封して討論会事務局までお送りください。記名、捺印のみ行き返送します。送付先はメールにてお問い合わせください。

事前参加登録申込締切日

- 4 月 17 日（水）厳守（支払方法によらず同じです）。
4 月 18 日以降はすべて通常登録扱いになります。
※会期中でも参加登録は可能ですが、御自身のパソコン・タブレット等の端末から登録いただくことになります。

参加登録料、懇親会参加料

1. 参加登録料

事前：会員 9,000 円、学生会員 4,000 円、
非会員 18,000 円、非会員学生 8,500 円
通常：会員 12,000 円、学生会員 5,000 円、
非会員 21,000 円、非会員学生 9,500 円
※参加登録料はすべて税込金額です。

2. 懇親会参加料

事前：一般 12,000 円、学生 4,000 円
通常：一般 15,000 円、学生 6,000 円
※懇親会参加料はすべて税込金額です。

各種料金お支払方法

事前：クレジットカードまたは銀行振込
通常：クレジットカードのみ
※オンライン決済の開始は 3 月 1 日を予定しています。お支払方法の詳細については討論会 HP をご参照ください。（ご注意）
※会員には団体会員に所属する方を含みます。維持会員は会員扱いとなります。他の団体会員の場合は、1 名に限り会員扱いとなります。
※名誉会員につきましては参加、懇親会ともご招待とさせていただきますが、ご参加の場合は参加登録手続きを行ってください。

【討論会参加登録料等領収書について】

参加登録料等の領収書は、PDF による発行となります。決済完了後に参加登録システムよりダウンロードできます。

【Web 版講演要旨集の閲覧方法】

- ・講演要旨集の閲覧については討論会 HP をご参照ください。
- ・スマートフォン等の機器では正しく表示されない場合があります。予めご了承ください。

【講演申込登録をされた皆さまへ】

講演要旨提出締切日は 3 月 6 日（水）です。講演申込登録をされた方は、締切日までに必ず講演要旨ファイル（A4 版 1 ページ、PDF ファイル）のアップロードをお願いいたします。詳細は討論会 HP をご参照ください。締切日以降のアップロード・差替えはできません。

講演要旨について

1 講演あたりの講演要旨のサイズは A4 判 1 頁とし、PDF ファイルによる提出となります。概略は以下の通りです。詳細は討論会 HP を参照ください。

- ・1 講演あたりの講演要旨のサイズは A4 判 1 頁（図表、画像等を含みます）。カラー図表、画像も可とします。
記載内容、形式等については討論会 HP 内に要旨作成テンプレートを置く予定ですので、そちらをご参照ください。

【口頭発表者の皆さまへ】

すべての口頭発表会場にプロジェクター、HDMI ケーブルを用意します。HDMI 以外の PC 接続については適切なアダプ

お知らせ

タを講演者にてご準備ください。

講演者は講演データのあったノートパソコンを持参して講演発表を行ってください。詳細は討論会 HP をご参照ください。

【ポスター発表者の皆さまへ】

ポスターボードの大きさ、形状などの案内は、討論会 HP でのお知らせをお待ちください。

【Web 版講演要旨集の発行日について】

第 84 回分析化学討論会 Web 版講演要旨集の発行日は、5 月 2 日（木）です。特許出願の際は、下記の特許庁ホームページを参照ください。

<https://www.jpo.go.jp/index.html>

本要旨集に掲載されたものについての著作権は、(公社)日本分析化学会に帰属します。

【その他事項】

講演プログラム速報版は討論会 HP に 3 月下旬までに掲載予定です。いかなる事情があっても、プログラム確定後の変更は受け付けません。

【宿泊等についてのご注意】

実行委員会では宿泊先等にかかる幹旋は行いません。お早めの確保をお願いいたします。

【託児所開設について】

第 84 回分析化学討論会では、託児所を開設の予定です。事前予約制とします。詳細は討論会 HP をご参照ください。

【各種お問い合わせ先】

講演および会場などに関するご質問は実行委員会までお問い合わせください。なお今般、討論会・年会にかかる運営が大幅に変更となった関係で回答までに相応の日数を要する場合がございますことご容赦ください。

第 84 回分析化学討論会実行委員会事務局

E-mail: 84touron@jsac.jp

「分析化学」年間特集“分”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では 2010 年より「年間特集」を企画し、節目の 15 年目に当たる 2024 年は「分」をテーマとすることと致しました。

本特集では「分」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第 73 巻（2024 年）合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「分」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の 10・11 号及びホームページをご参照ください。

特集論文の対象:「分」に関連した分析化学的な基礎・応用研究に関する論文。例を以下に示します。

- 1) 環境水や体液といった液体試料を分析するための前処理分離に関する研究、2) さまざまな物質中から測定対象

物質を分離抽出する技術に関する研究、3) 環境からの有害物質の除去・有用物質の回収に関する研究、4) クロマトグラフィーに関する基礎・応用研究、5) 分離のシミュレーションを活用した分析化学的研究、6) 生体サンプル中のバイオマーカー検出に関する研究。

特集論文原稿締切: 2024 年 4 月 26 日（金）（第 3 期）

「分析化学」特集 “流れ分析—40 年の歩みとこれから”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、フローインジェクション分析研究懇談会と共同で「流れ分析—40 年の歩みとこれから」と題した特集を企画しました。フローインジェクション分析研究懇談会は、1984 年に設立され、2024 年に 40 周年を迎えます。この間、様々な流れ分析のプラットフォームが開発され、発展してきました。また、JIS において規格化され、臨床、産業、環境をはじめとする様々な分野で活用されるようになりました。本特集号では、流れ分析のこれまでの発展に関する総合論文、流れ分析法の未来を切り開く新しいプラットフォームの開発、新しい検出法や流れの特性を活かした検出反応、溶液のハンドリングを自動化し様々な測定器への直接導入を可能とした前処理法などの分析法をはじめ、流れ分析の迅速かつ高感度である特徴を活かしたアプリケーションの展開などについて報文などの投稿をお待ちしております。奮ってご投稿ください。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切: 2024 年 2 月 20 日（火）

特集論文原稿締切: 2024 年 4 月 12 日（金）

初めて書く論文は母語の日本語で！ “第 23 回若手研究者の初論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2024 年（第 73 巻）に第 23 回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019 年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌 HP をご参照ください。